

# バスに乗ってみよう

ここでは、バスの利用方法を紹介します。町内循環線を初めて利用する坂本さんが、最寄りのバス停から本中野駅まで向かう様子を追いました。坂本さんと一緒にバスの乗り方を確認してみましょう。



バス停でバスを待ちます。「バス予報」を利用することで、バスがどこまで来ているか即時に確認することができます。



バス予報



バスがやって来ました。さっそく乗ってみましょう。



支払いはバスに乗るときです。学生の場合は一週どこまで乗車しても100円です。



目的地に着くまでに外を眺めてみると思わぬ発見があるかも。



停車したいバス停のアナウンスが流れたら「とまります」のボタンを押しましょう。

## 坂本さんの利用してみた感想

初めて町内循環線を利用しましたが、想像よりも乗りやすかったです。普段、学校に通うときは、自宅から駅までを自転車で移動しています。そのため、雨の日や風の強い日はいつも苦労していました。今後は、便利なバスがあることを知ったので、そのような日にはバスを利用しようと思います。また、通学や通勤ではほぼ毎日利用するため、定期券があるのも便利だと思いました。子どもや高齢者にやさしい料金設定になっているのもいいですね。



駅に到着。これから電車を利用して学校に行ってきます。

[Close Up]

# バスを日常に

～町内循環線といつまでも～

令和4年10月に運行を開始し、1年と5ヵ月が経った町内循環線。通勤・通学や買い物に便利なこのバスを知っていますか。今回は町の公共路線バスについて紹介します。



今回の撮影に協力してくれた都内の専門  
学校に通う坂本風斗さん(前瀬戸宿・8区)

## 町の公共路線バス 「町内循環線」

町内循環線は、町内を走る公共路線バスです。令和4年10月から運行を開始しました。「循環線」という名前のとおり町内を左右両回り、循環するように走っています。住宅地と商業施設や公共施設、東武鉄道小泉線の停車駅を結んでいる、通勤・通学や日々の買い物での利用が想定された路線です。

## 公共交通の現状と課題

公共交通は、通勤・通学利用をはじめとして日々の生活に必要な不可欠。でも、人口減少や少子



町内循環線の運行に携わる(株)矢島タクシー。町との連絡担当を務める獅子倉さんに話を聞きました。

(株)矢島タクシー  
獅子倉芳和さん

化、マイカー利用の普及などによって、利用者は年々減少傾向にあります。それに伴って、多くの事業者が厳しい状況に置かれ、公共交通の維持・確保は難しくなっています。特に、町では日常の移動手段としてマイカー利用が一般的となっており、利用者が少ないのが現状です。そのため、バスに乗ることができないという人も多いのではないのでしょうか。ここでは、バスの乗り方や利用者・交通事業者の声、町の取り組みなどを紹介します。新年度からの通勤・通学や日頃の買い物に、町の公共交通を利用してみませんか。

館林都市圏の公共交通は、都市圏の各市町、交通事業者、学識経験者、住民の代表などで組織された協議会の中で話し合われて決められています。社会情勢やそこに住む人たちのニーズに沿った公共交通を維持するため、その時々合った運行体制を考えています。私たち事業者と町の皆さんとで、町内循環線をよりよいものにしていきたいと考えます。

# バスに関する

## Q & A



**Q** 町内循環線について、もっと詳しく知る方法がありますか？

**A** 路線図や時刻表、運賃、児童たちの取り組みの詳細などは、町のホームページから確認することができます。役場にパンフレットも置いてありますので、ご活用ください。また、「みんなの講座」では、実際に町内循環線に乗りながら、職員による説明を受けることができます。みんなの講座の詳細は広報おうら令和5年6月号をご確認ください。



町HP

**Q** なぜ町外に向かうバスがなくなったのですか？

**A** 鉄道と役割を分けるためです。公共交通の利用者が減っている中でもより効率的な運用をするため、町外に向かうには鉄道を利用してもらい、町内での移動や鉄道への接続のための路線として町内循環線を運行することとなりました。なお、鉄道を挟んで再び館林都市圏のバスを利用する場合、1回分の運賃で乗り継ぎができます。詳細は下表を確認してください。

**Q** 定期券や回数券はどこで購入できますか？

**A** 定期券や回数券の購入は(株)矢島タクシーにお問合せください。なお、役場企画課で申込みを行い、バス車内で支払いと定期券の受け渡しをすることもできます。

町の公共交通を学習している中野小学校の児童たち



左から寺内葵さん(前原・4区)、松本泰良さん、山本理巧さん(天王元宿・5区)、長谷川汐音さん(横町化楽・3区)

私たちは学校の「総合的な学習の時間」という授業で、町の公共交通に興味を持ったグループです。

興味を持ったきっかけは、町外に向かっていったバスを最近見なくなったことでした。調べてみると、それらのバスに代わって町内循環線が走っていることを知り、詳しく調べることにしました。そこで、役場の担当の人に話を聞き、公共交通の利用者が減っていることや路線を切り替えてから認知が進んでいないことを学びました。そして、私たちにできることをいくつか考えました。その一つが乗車する人を増やすために、町を紹介する車内アナウンスを放送することです。それを町に提案した結果、実現することになりました。

## 期間限定 アナウンス開始



中野小学校の児童たちの提案を受けて、町内循環線で車内ガイドアナウンスを実施することになりました。3月上旬から、児童たちが町内を紹介する音声流れます。放送は3月末まで実施予定です。

## 問合せ先

定期券や回数券の購入について  
**(株)矢島タクシー ☎60-1212**  
(夜間の場合 ☎60-1234)

町内循環線のことについて  
**役場企画課 ☎47-5009**



### ●運賃表 ※乗車券・回数券は車内で購入できます。

区分	運賃	定期券(通勤・通学など)			回数券(9%割引)
		1カ月	3カ月	6カ月	
一般(下記区分以外)	200円	7,200円	20,520円	38,880円	1,000円 (50円券×22枚)
子ども(満1歳~小学生未満)	100円	3,000円	8,550円	16,200円	
学生(小学生~大学生)					
高齢者(満65歳~70歳未満)					
高齢者(70歳以上)	100円	500円	1,500円	3,000円	
乳児(1歳未満)		無料			

※町内循環線の運賃で館林市内のバスに乗り継ぎができます。乗り継ぎにはバスの運転手に乗り継ぎ券をもらってください。館林の路線図については下記から確認ができます。



館林市HP